

学校だより



井波っ子

令和7年6月20日

南砺市立井波小学校

6月号 第368号

井波小学校HPアドレス

<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

題字 4年 前川 紹巴さん

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

何のために

校長 中町 寿子

学年目標
かっこいい4年生

*挑戦する力
*切りかえる力
*助け合う力

ごほうびのためにやるのは、かっこよくない。ただ(ポイントに)つられているだけ。

ポイントカード作戦



ごほうびのためではない。何もしなくても(作戦を立てなくても)自分からやる。

議題
「切りかえるカパワーアップ作戦」の方法を考えよう

5月末に、校内研修会を行いました。4年生の学級活動の授業でした。「かっこいい4年生」になるために必要な力の一つである「切りかえる力」をパワーアップさせるための作戦を話し合う学級会です。この学級会では、各自がいくつかの作戦を試してみた結果を基に話し合いました。試した結果からそれぞれの作戦のよかったことや困ったこと等が発表されました。私が注目したのは、「何のために」話し合っているのかをしっかりと意識している子供の発言(上図)でした。ポイントをためることが目的ではないことに気付いているのです。この日、指導講話をくださった帝京大学教育学部教育文化学科教授の安部恭子先生からも「何のために」話し合うのかを明確に意識することの大切さについてお話がありました。

また、6月11日(水)には、第1回井波小学校・井波中学校学校評議員会を開催いたしました。そこでも、「何のために」がキーワードとして話題になりました。例えば、アクションプランについて、どのような力が付くのかを子供が意識することや、集団登校について、その目的は何かなどです。この「何のために」を言い換えると、ねらいと言えるのではないかと考えます。学校行事一つとってもねらいがあり、ねらいがあるからこそ取り組む方向や内容が明確になり、ベクトルを揃えて取り組むことができると考えます。

これは、私たち教員でも時々陥るところです。ともすれば、ねらいではなく、目の前の活動の効率や興味・関心等へと話合いの中心がずれてしまうことがあります。そのため、どのような子供の姿を目指すのかといったねらいを忘れず、そのためにどのような力を付けていかなければならないのかを考えて取り組んでいかなければと自分や教職員に言い聞かせています。

7～8月の主な行事予定

7月17日(木)・18日(金)

アルミ缶回収

22日(火) 保護者個別懇談会

(山野・南山見・高瀬)

23日(水) 保護者個別懇談会(井波)

24日(木) 終業式 給食終了 給食後下校

25日(金)～8月25日(月)まで

夏季休業

7月30日(水)～31日(木)

6年集団宿泊学習(立山荘)

8月13日(水)～17日(日) 学校閉庁日

24日(日)～25日(月) 課題提出日

24日(日) 父母と教師の会 親子清掃活動

26日(火) 始業式 給食開始 給食後下校

27日(水)～9月2日(火)まで

5限後下校

新体カテストで見つけよう！自分の課題

体育主任 古瀬 翔太郎

毎年1学期に全国の小中学校で「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が行われています。種目は握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの8種目です。今年も新体カテストに全校児童が取り組んでいます。

測定に向けて、体育の時間等で練習の機会を設け、種目の内容や正しいやり方を理解するとともに、自分の運動能力の特性を知ることができました。練習の中で「もっと速く走れるようになりたい」「体がかたくて前に倒れられない」などの声が聞かれ、自分の運動課題について考える機会となっています。

健康委員会では、この調査結果を基に全校児童の体力向上につながる取組を考えていきます。昨年度は柔軟性に注目して「やわらか王になろう」という活動を行いました。今年も結果から見えてきた課題に応じて、新しい活動を企画していく予定です。

体力を高めることは、けがの予防や健康づくりにつながるだけでなく、運動を楽しむ力にもなります。子供たちが、自分の体と向き合い、より健康でいきいきと生活できるよう、学校全体で支援していきたいと考えています。



1年 生活科「はなをそだてよう」

1学年主任 高田 公美

生活科の時間に、アサガオを育てています。数種類の中から、自分が育てたい品種を選び、地域の「アサガオ名人」さんに栽培のこつを聞きました。

「葉っぱが大きくなったよ。」「謎の物体が双葉の間から出てきた!」「種の中はどうなっていたのかな。」等、アサガオに心を寄せながら、毎日観察をしています。



〈アサガオの様子について友達と話す児童〉

5年 集団宿泊学習

6月5日(木) 6日(金) 砺波青少年自然の家

5学年主任 荒木 典子

「挑戦・団結・メリハリ・マナー」を合言葉に、知恵を出し、声を掛け合いながら、仲間との絆を深めました。



〈イニシアティブゲーム〉



〈追跡ハイキング〉



〈野外炊飯〉



〈キャンプファイヤー〉